

県央 県東



広告のご用命 TEL 048-1795-19932

本社 さいたま市北区吉野町2-282-13
 編集局 TEL 048-1795-19161
 FAX 048-1653-19040
 dokusya@saitama-rp.co.jp

医療、教育支援に感謝

大宮区のNPO法人 カンボジアの議員招待

カンボジアの国會議員、シン・ナム氏が、回国で病院や学校の整備を支援しているNPO法人共生フォーラム(さいたま市大宮区、神成裕理事)の招待で来県した。シン・ナム議員にカンボジアの医療事情や教育問題などを聞いた。

シン・ナム氏は、アンコール・ワットなどの遺跡があるシェムリアップ州選出の国會議員。大学やホテルを経営する実業家でもある。5年前に同フォーラムの神成理事長が教育省の要請で学校を建設する



カンボジアの医療や教育問題について語るシン・ナム議員

するためにカンボジアを訪れた際、篠原勝弘大使(当時)から紹介された。同団体はこれまで小学校1校、中学校2校を開校し、今年度中には職業訓練センターと病院も開業する見通し。

シン・ナム氏は「カンボジアはまた医療レベルが低く、専門的な病院も少ないので、設備の整った総合病院の建設はありがたい」と話す。施設や医療機器だけでなく、医師や看護師などの人材も不足。同フォーラムの支援で、医師や看護師らが鴻巣市の医療施設へ1年間研修を受けたことも紹介した。

教育面でも、各国の援助で学校などの施設は建てられたものの、教員や文房具などが不足しているという。「カンボジアはまだ医療、教育とも十分とはいえない。このような民間の支援はありがたい。今後ぜひ支援をお願いしたい」と章の根の支援に期待を寄せていた。

(古屋武志)



五大尊の不動明王坐像(県立歴史と民俗の博物館提供)

あすから県立歴史と民俗の博物館 さいたま市大宮区の県立歴史と民俗の博物館は、2009年以来5年ぶりに公開する。

29日から11月16日まで、越生町黒岩に伝わる真指五大尊は長徳寺の境内にある堂のついに安置されていた木造五大明王像

越生の五大尊 5年ぶり公開

だが、明治時代初めに廃寺となった後、地域住民の手で守られてきた。1999年からは、同博物館で管理。不動明王、降三世(ごんざんせ)明王、軍荼利(ぐんたり)明王、大威徳(だいいく)明王、金剛夜叉(こんごうやしや)明王の5体から構成される五大尊は、平安時代末期に作られたものと考えられている。中世の作としては、県内で唯一現存する5体そろっている五大明王像で、2000年に県の有形文化財に指定された。

祝日を除く月曜休館。午前9時から午後4時まで(7、8月は同5時まで)開館。観覧料一般300円、高校生・学生150円、中学生以下障害者手帳などの所有(付き添い1人を含む)は無料。6月15日まで開中の国宝「慈光寺経」など、ほかの常設展示も見学できる。

問い合わせは同博物館(☎048-6445-171)へ。

(田付智大)

国際交流など 18団体を紹介

浦和区、スポーツ&ワールド展 サッカーワールドカップ・ブラジル大会の開催に併せて、さいたま市内の市民団体の活動を紹介します。パネル展示「スポーツ&ワールド」さいたま(同市市民活動サポートセンター主催)が5月6日まで、同市浦和区のコミュニレ



「タウン記者 岡田隆 起業や創業者対象に」

問い合わせは、同センター(☎048-813-6400)へ。

(タウン記者 岡田隆)